れんげそう

令和８年９月 30 日
福生第五小学校
学校通信第 591 号

実り多き一年に向けて

教務主任　荒井　一聴

夏の暑さが少しずつ和らぎ、秋の訪れを感じる季節となりました。早いもので令和８年度も上半期を終え、下半期へと歩みを進めようとしています。

この半年間を振り返ると、子どもたちは新しい学年・学級での生活に慣れ、日々の学習や様々な活動を通して大きく成長してきました。入学式や運動会をはじめとする行事では、一人一人が自分の役割を果たそうと努力する姿が見られ、仲間と協力しながら活動する中で、心も体も大きく成長したことを実感しています。

本校では、学校経営方針の合言葉である「みんながつくる楽しい学校」を目指し、子どもたちを中心に、保護者・地域・学校がそれぞれの力を生かしながら学校づくりを進めています。今年度前半では、地域の皆様による見守り活動や七五三挨拶運動、運動会や体力テスト等への御支援をいただきました。また、本校の伝統である愛鳥活動にも全校で取り組み、地域の自然や生命への理解を深めることができました。このような活動は、子どもたちの豊かな心を育むとともに、地域とのつながりを実感する貴重な機会となっています。

保護者の皆様には、日頃より学校の教育活動に御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。子どもたちは成長の過程で様々な経験を重ね、ときには悩みや人間関係の課題に直面することもあります。しかし、そのような経験を通して考え、振り返り、周囲の支えを受けながら乗り越えていくことが、心の成長につながります。学校でも家庭でも、子どもたちの思いに寄り添いながら、「心育て」を大切にしていきたいと考えています。

一方で、本校の子どもたちの学習の様子を見ると、学習習慣の定着や基礎的・基本的な学力の向上については、引き続き取り組むべき課題が見られます。今年度後半は、子どもたちが自ら学び、自ら考え、主体的に学習に取り組む「自立した学習者」の育成を目指し、授業改善を一層進めてまいります。また、家庭学習の充実についても学校と家庭が連携しながら取り組み、確かな学力の定着につなげていきたいと考えています。

今後も、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成を教育活動の柱とし、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの成長を支えていきます。教務とは、学校の行事や日々の教育活動を推進する校務です。子どもたち一人一人が「みんながつくる楽しい学校」の担い手として力を発揮できるよう、これからの計画、進行をすすめていきます。引き続き、保護者・地域の皆様の御理解と御協力をお願いします。